

公開口頭審理で証人証言

「市長は全部知っていた」

横浜市脳血管
医師異動問題

横浜市立脳血管医療センター（磯子区）の元神経内科医師で現在は市衛生局保健政策課に勤務する松岡慈子さん（45）が、市の人事を不当として市人事委員会に審査請求していた件をめぐる二十六日、公断による口頭審理が同市

内で行われた。松岡さん側証人の同センター女性医師は「二〇〇二年秋から二年近く、中田宏市長に直接会ったりメールで情報を入れており、市長は間接に審査請求していた件をめぐる二十六日、公断による口頭審理が同市

市側は「医師の原因」指摘

女性医師によると、松岡さん側証人の同センター女性医師は「二〇〇二年秋から二年近く、中田宏市長に直接会ったりメールで情報を入れており、市長は間接に審査請求していた件をめぐる二十六日、公断による口頭審理が同市

の民営化などの話をしたとして、同月から市長の側近を通じてメールでやりとりを開始。医療過誤や同病

院の問題点すべてを知らせたと、中田市長は「ひどいな、そんなことをやっているのか」と驚いていたという。〇三年

免許更新が一時停止

県警運転免許試験場 電算機トラブル原因

県警運転免許試験場（横浜市旭区）で二十五日午前、電算機のトラブルで免許更新作業が一時ストップしていたことが二十六日、分かった。職員が復旧作業にあた



公開で行われた横浜市脳血管医療センターの人事に関する口頭審理の会場
＝横浜朝日会館の横浜市会議室（立石 祐志写真）

に勤務していた男性医師は「松岡さんの異動は、言葉の暴力で、医師や看護師とのコミュニケーションがとれない状態を招いたのが異動の原因」と指摘した。

男性医師への反対尋問では、同医師が同センターの事務セクションから依頼を受け、陳述書を作成し、人事室に提出したと証言した。同医師は今

いっばい情報交換は続いたが〇四年八月、市長からの「話が複雑でついていけません。岩崎栄先生（現病院経営局長）にすべてを任せて指針に従います」がラストメールだったとしている。

その後、松岡さんは〇五年四月に現部署へ配転となったが、女性医師は「市長の行為は、すべてを伝えた者に対する裏切りだ」と批判。さらに市が証人として申請

がでなくなったのは午前八時半から。職員が復旧作業をし、午前九時すぎには正常に戻った。同課は詳しい原因を調べている。